

とびら



No.99

(令和元年12月議会を掲載)



特集 女子サッカー×市議会



— CONTENTS —

- 特集 女子サッカー×市議会 2・3頁
- 12月議会の概要……………4～6
- 議会報告会を開催します……………7
- 常任委員会の活動……………8・9
- ここが知りたい！一般質問……………10～19
- 意見交換会(鹿島灘高等学校)……………20・21
- きかせて！あなたの夢……………22

次号の「とびら」は、令和2年5月1日発行予定です



“レディース”



女子サッカー×市議会

スポーツを通して、学校や家庭では経験できない多くのことを学ぶことができるスポーツ少年団。今回はト伝の郷運動公園で日々練習に励む鹿島レディースサッカークラブの石附監督にお話を伺いました。

議 鹿島LSCの発足はいつごろですか、またスタート時の様子はどうか。

鹿島LSCの正式名称は鹿島レディースサッカークラブです。発足は約20年前です。アントラーズの元監督の宮本征勝さんから声をかけられたのがきっかけで、最初は3人から始まりました。

当時は鹿島アントラーズのトレーニングを続けながら子どもたちにもサッカーを教えていましたが、2006年に退社し、針鍼灸の店を営みながら本格的にレディースサッカーを教えるよう

になりました。

県東地区でレディースのサッカーチームがあるのは鹿嶋だけです。水戸から通っている子どももいますよ。メンバーは、小学生から高校生まで35名います。コーチ陣は監督の私(石附)、大宮コーチ、田山コーチ、吉沢コーチ、平山コーチの5人体制です。

議 鹿島LSCはどのような活躍をされているのでしょうか。

県レベルではアンダー18で優勝もしています。全国大会への出場も経験しています。





夢は鹿島アントラーズ

議 クラブの監督としてやって来られた約20年間でのご苦労をお聞かせください。

喜びも悔しさもありますが、サッカーが上手くなるのはもとより、最初は挨拶ができなかった子どもが、練習を通しきちんと挨拶ができるようになり、成長を感じられた時には試合に勝ったときより嬉しいですね。

あと、6年前に大学生に勝って全国大会に出たときは、夢かと思うくらい嬉しかったですね。

議 鹿島LSCは全国大会内ではトップクラスですが、今後クラブが目指すものは何でしょうか。

なでしこジャパンに選手を輩出したいという夢は叶いました。これからは、サッカーが好きで好きでたまらないというような子どもたちが増えてほしいですね。

その上で地元茨城出身の子ど

もたちが98%を占めるチームで「国立」に出てトップを取りたいです。

議 今後鹿嶋市に望むことがあれば教えてください。

鹿島LSCは、当時の鹿島中学校の、ある女子選手をなでしこリーグの選手にしたいという目標から始まりました。数年後に鹿島LSCの教え子が日本一をかけて戦ったことは、指導者冥利につきます。今年も鹿島LSC出身の吉川はなのが代表に入り大変誇らしく思います。

これからの課題は、いかにして女子サッカーを根付かせて裾野を広げていけるかだと思います。私たちは鹿島LSCを鹿島アントラーズレディースにしていきたくて願っています。

アントラーズの株主でもある鹿嶋市にも、実現に向け力をお貸しいただければと思います。

議 ありがとうございます。



団員募集

活動日：火・金・土・日曜 (18:00～21:00)
水曜 (18:00～20:00)

場所：卜伝の郷運動公園多目的球技場

費用：月額 小学生7,000円、中学生以上8,000円

申し込み
問い合わせ

石附さん
☎0299-84-5667 ☎070-2173-6810



こんなことが決まりました！

12月6日～12月20日の15日間、令和元年第4回定例会が開催されました。市長から23件の議案が提出されたほか、議会へ3件の請願・陳情が提出されました。また、委員会から2件の意見書が提出されました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
市長から提出された議案 23件		
議案第70号	令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第71号	令和元年度鹿嶋市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第72号	令和元年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第73号	令和元年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第74号	鹿嶋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決
議案第75号	鹿嶋市産業活動の活性化のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	鹿嶋市資金積立基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	鹿嶋市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第79号	鹿嶋市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第80号	鹿嶋市の水道事業における布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第81号	鹿行広域事務組合理約の変更について	原案可決
議案第82号	鹿行広域事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決
議案第83号	鹿嶋市監査委員の選任について	原案同意
議案第84号	市道路線の認定について	原案可決
議案第85号	市道路線の変更について	原案可決
議案第86号	市道路線の認定、廃止及び変更について	原案可決
議案第87号	鹿嶋市宮鹿島神宮駅西駐車場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第88号	鹿嶋市大野潮騒はまなす公園の指定管理者の指定について	原案可決
議案第89号	権利の放棄について	原案可決
報告第4号	専決処分について（令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号））	原案承認
報告第5号	専決処分について（令和元年度鹿嶋市農業集落排水特別会計補正予算（第1号））	原案承認
報告第6号	専決処分について（令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第4号））	原案承認
議会へ提出された請願と陳情 3件		
令和元年 請願第3号	ライドシェア導入に反対し、タクシー等の公共交通を維持・活性化する施策推進を求める意見書の提出を求める請願	採択
令和元年 請願第4号	急傾斜地崩壊危険区域における災害発生箇所の現地確認調査と住民の生命財産を守るための防災の強化に関する請願	採択
令和元年 陳情第8号	「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の陳情	採択
委員会が提出した議案 2件		
意見書第5号	ライドシェア導入に反対し、タクシー等の公共交通を維持・活性化する施策推進を求める意見書	原案可決
意見書第6号	急傾斜地崩壊対策事業に対する支援を求める意見書	原案可決

災害復旧に係る補正予算や、市民から提出された 神野地区の開発行為に関する請願を審議

討論

■議案第70号 令和元年度鹿嶋市
一般会計補正予算(第5号)

反対 立原弘一 議員

児童福祉施設の補助金4940万4000円については審査不十分であり、認められない。住民合意のまちづくりという基本から外れている今回のベビルーム建設は再度見直すべきであり、他の場所も選択肢にしながら、住民に歓迎される施設としてやり直すことを強く求め、反対する。

賛成 菅谷 毅 議員

専決処分された9月・11月補正と合わせて、災害への迅速な対応と市民の生活再建や被災者対応のための新規予算等、全てが必要かつ重要な予算であると考えため、賛成する。

賛成 佐藤信成 議員

令和元年請願第4号の中には、都市経済委員会の所管の業務以外にも文教厚生委員会、総務生活委員会等の内容も含まれていた。都市経済委員会だけで調査をしたことよって、意見書は結果的に請願者の願意と離れた、都市経済委員会所管だけのものになってしまった。以上の理由から、予算決算常任委員会では反対をしていたが、今回一定の調査も行われ、請願もまとまる見込みが立ったので賛成とする。

賛成 宇田一男 議員

台風による災害復旧を初め、農業従事者の災害支援費が含まれた補正予算であり、当然ながら賛成すべきものである。徹底した予算管理をお願いするとともに、市長公約を含めた既存の補助事業についても、予算管理が可能な事業に改善するようお願いする。既存事業の是非について

も十分に検証し、事業の選択と集中を行った新年度予算策定を期待する。

賛成 田口 茂 議員

令和元年請願第4号については都市経済委員会で、しっかりと現地調査もされ、全会一致で請願が採択されたため、私の所期の願いがかなったということで賛成をする。

■令和元年請願第4号 急傾斜地崩壊危険区域における災害発生箇所
の現地確認調査と住民の生命財産を守るための防災の強化に関する請願

賛成 佐藤信成 議員

崖崩れの恐怖におびえている市民からの切実な内容であり、当然採択しなければならない請願である。本来は、連合審査会を開いて、各常任委員会ですらなければいけない内容

であったにもかかわらず、都市経済委員会では連合審査会の開催を反対多数で否決した。これによって、ほかの委員会での調査の機会が奪われてしまった。請願者及び署名を書いた方々が一日も早く安心して暮らせる環境が整うことを切に願い、賛成とする。

賛成 立原弘一 議員

対象となっている神野の土地については、土砂災害警戒区域に指定されている崖の上に極めて近い場所があり、ただでさえ嚴重な注意を払う必要がある地域である。生命と財産の危機を感じた皆様の思いが詰まった大事な内容の請願である。一刻も早く住民の皆様の安心、安全のための対策を、具体的に、いつ、どういう方法で、いつまでにやるということを示すよう強く求め、賛成する。

意見書を提出しました

■ライドシェアの導入に反対し、タクシー等の公共交通を維持・活性化する施策推進を求める意見書

政府は、近年、シェアリングエコノミーの成長を促すとの名目で、スマートフォンを活用した「ライドシェア」と称する「白タク」行為の解禁・導入を求める動きが出ている。

ライドシェアは、運行管理や車両整備等について責任を負う主体を置かないままに自家用車のドライバーのみが運送責任を負う形態を前提としており、事故時の賠償の面でも責任はドライバー個人が全て負うというものであり、安全の確保や利用者の保護の面で大きな問題がある。

加えて、ライドシェアは、運転者を雇用者としてではなく、独立した個人事業主として扱ったため、ドライバーは労働関係法令の適用を受けない働き方を強いられ、そのような問題である。

このようなライドシェアが導入されてしまえば、タクシー事業だけでなく地域の公共交通の存立基盤が脅かされ、地域経済にも深刻な影響を与えることになる。

よって、地域公共交通を担うタクシー事業及び公共交通がより安全・安心で快適・便利な交通機関として利用者に安定した輸送サービスを提供できるよう、国においては下記の事項について適切な措置を講じるよう強く求める。

1. 安全・安心の面で大きな懸念のあるライドシェアを導入しないこと。
2. 地域住民の移動手段として大きな役割を担っているタクシー及び公共交通の維持・活性化に向けた施策を推進すること。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）

■急傾斜地崩壊対策事業に対する支援を求める意見書

令和元年9月に通過した台風15号、19号及び21号により、茨城県内特に県北や県南地域において多数の土砂災害が発生している。本市（神野4丁目地内）においても、市の土砂災害ハザードマップに示されている土砂災害特

別警戒区域の急傾斜地が一部崩壊し、土砂の流出や亀裂が発生している。また、急傾斜地の樹木が倒木被害に遭い、本来の強度が失われた状況もあり、地域住民の生命と財産が脅かされる事態となっている。併せて、急傾斜地上部の土地においては、保育施設の建設も予定されていることから、早急な急傾斜地への崩壊対策が必要となっている。

近年、大規模な風水害や地震など自然災害が相次いで発生している状況も鑑み、一刻も早い急傾斜地崩壊対策危険区域に指定し、危険個所の抜本的な防災対策を速やかに実施し、県民の生命・身体・財産を保護すべく、県においても必要な支援措置を講じられるよう強く要望する。

1. 県内の急傾斜地危険区域を再調査し、該当区域については区域指定を行うこと。

2. 該当区域の急傾斜地崩壊対策事業を早急に講じること。

3. 急傾斜地の被害拡大を防ぐため、必要な応急措置を講じること。

【提出先】

茨城県

議員賛否一覧表

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-

※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。

賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果	未来かしま							公明かしま		日本共産党		幹会		無所属					
	飯塚俊雄	内田政文	根崎彰	池田芳範	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	山口哲秀	樋口富士男	立原弘一	川井宏子	宇田一男	菅谷毅	舛井明宏	田口茂	河津亨	佐藤信成
議案第70号 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第78号 鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×
令和元年請願第3号 ライドシェア導入に反対し、タクシー等の公共交通を維持・活性化する施策推進を求める意見書の提出を求める請願	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第5号 ライドシェア導入に反対し、タクシー等の公共交通を維持・活性化する施策推進を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員と語ろう 議会報告会を開催します！

どなたでも
ご参加
いただけます

お気軽に
お越しください



議会の活動を知っていただくため議会報告会を開催します。

また、当日は、市民の皆様のご意見を市政に反映させるため、各テーマに沿った意見交換会も実施しますので、ぜひご家族ご友人をお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。

日時 **2月9日(日)**



●鹿島地区

【時間】 **10:00 ~ 12:00**

【場所】 鹿嶋市役所3階会議室

●大野地区

【時間】 **14:00 ~ 16:00**

【場所】 大野ふれあいセンター2階会議室

対象 鹿嶋市内在住の方

意見交換会テーマ

◆総務生活委員会

- ①ごみ処理・環境について
- ②公共交通について

◆都市経済委員会

- ①公共インフラ（上下水道・道路・雨水排水等）について
- ②観光・商工について

◆文教厚生委員会

- ①医療・介護について
- ②高齢者・障がい者福祉について
- ③学校教育について

予 算 決 算 常 任 委 員 会

神野四丁目の開発行為が争点に

予算決算常任委員会では、4件の補正予算、3件の専決処分の報告を審査しました。

主な質疑

■議案第70号 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第5号）

問 保育緊急確保事業費補助金及び安心子ども支援事業と神野四丁目の開発行為の関係は。

答 神野四丁目のベビールームの補助金である。

問 ベビールーム建設にあたっての安全性の確保の根拠は。

答 一般的に崖面がある場合、崖の上部に関して崖の高さの2倍の距離を保たなければならないと条例で規定されている。これを安息角と呼ぶが、建物の基礎部分が安息角内にあることは間違

いないため、それを根拠として危険性はないと判断している。

意見

関係法だけでなく、安全性を考慮した上で行政として適切な指導をすべき。

【賛成討論】

執行部の説明不足や委員会の運営は反省すべき。

【反対討論】

神野四丁目における開発行為の現地調査を実施し、安全確認を行った上で採決すべき。

採決の結果、議案第70号については賛成多数をもって、その他の議案については全員賛成で、原案のとおり可決・承認すべきものと決定しました。

総 務 生 活 委 員 会

鹿嶋市産業活動の活性化のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の議案等を可決

総務生活委員会では、7件の議案と1件の請願を審査しました。

主な質疑

■議案第75号 鹿嶋市産業活動の活性化のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例

今回の改正は、産業の活性化に資する雇用及び企業誘致の促進を図るため、条例の一部を改正するもの。

問 ホテルルートイン鹿嶋が対象となっているが、今後その他に対象となる案件はあるか。

答 具体的な案件については把握していない。本条例がないと他自治体との競争に勝てない。

【賛成討論】
条例の改正前に事業用地を取得した業者等の理解を得る

べき。

■議案第78号 鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

今回の改正は、一般職の職員に準じて、市長等の期末手当の引き上げを行うため、条例の一部を改正するもの。

【賛成討論】

賛成ではあるが、市民の貧困が多くなっている状況の中、議員及び市長は市民の財産を預かっている。今後減額することも議論していく必要がある。

採決の結果、議案第74号ないし議案第78号、議案第81号及び議案第82号は全員賛成で原案のとおり可決すべきものと、令和元年請願第3号は賛成多数で採択すべきものと決定しました。

施設の使用料等の債権を放棄する議案を可決

文教厚生委員会では、議案1件、陳情1件を審査しました。なお審査に先立ち、鹿島中学校大規模改修工事予定箇所及び学校給食センター業務状況について現地調査を行いました。



鹿島中学校での現地調査の様子

主な質疑

■議案第89号 権利の放棄について

債務者やその保証人の死亡、相続放棄等の理由により、未

払金の回収が極めて困難である施設使用料等の債権について、支払いを受ける権利を放棄するもの。

問 債権を放棄しないための防止策は。

答 施設使用等の契約の申し出があった際に、相手方の所在、さらに会社であればその経理の状況等を事前に十分調査し、契約相手として適当であるかを判断した上で、契約をしていきたいと考えている。

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、陳情についても採択すべきものと決定しました。

※「権利を放棄すること」は、法律等に特別の定めがある場合を除き、議会の議決が必要であると定められています（地方自治法第96条）。

都 市 経 済 委 員 会

鹿嶋市水道事業の改正条例案や公の施設の指定管理者などを可決

都市経済委員会では、鹿嶋市水道事業の改正条例や市道の認定、指定管理者の指定などの議案7件と請願1件を審査しました。

主な質疑

■議案第79号 鹿嶋市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

令和2年度から鹿嶋市大野区域水道事業を鹿嶋市水道事業へ統合するため、給水区域、給水人口及び給水量を改定するもの。

問 鹿島区域と大野区域の統合による新たな水道事業計画の策定はいつごろになるのか。

答 令和2年度当初予算に策定経費を計上し、進めていきたい。

■議案第87号・第88号 指定管理者の指定について

公の施設の指定管理者を指定するもの。

議案	施設名称	指定団体	指定期間
第87号	鹿島神宮駅西駐車場	鹿嶋市シルバー人材センター	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
第88号	大野潮騒はまなす公園	はまなす楽遊会	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日

※指定管理者制度

市は、公の施設（会館・センター・図書館・公園など）の管理において、みずから管理するよりも住民のサービスの向上が図られ、一層福祉が推進すると思われるときは、法人その他の団体を指定（指定管理者）して、その施設の管理を行わせることができる制度。

採決の結果、審査した議案と請願はすべて全員賛成で可決・採択すべきものと決定しました。

ここが知りたい！ 一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「インターネット中継」をご利用ください。



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



くりはやし きょうこ 議員
栗林 京子
〔発言時間＝60分〕



Q 商店会に対する事業支援は

栗林

市は市内商店会に対してどのような支援策を展開しているのか。そしてどのように導こうとしているのか伺う。

A 商工会やまちづくり鹿嶋と連携していく

経済振興部長

支援事業としては、担い手づくりの創業支援事業として、商工会と連携し、鹿嶋商い元気塾を展開している。商店会活性化事業としては「食のフェアかしま食べ物語」を平成29年度からスタートしており、今回は市内16店舗で行う。また仲町商店会での綱引きフェスティバル事業などを行ってきた。新たな取り組みとして、中心市街地の空き店舗解消

を目的とした空き店舗リノベーション事業などを展開している。市としては来年から空き店舗を活用した新規創業者に対する助成制度などの支援を検討しており、引き続き商工会やまちづくり鹿嶋とも連携しながら活性化を推進していく。

※鹿嶋商い元気塾：鹿嶋の元気なまちづくりを振興することを目的として、創業希望者を対象とした創業セミナーや創業スクールの実施、事業者を対象とした講演会の開催などを行っている。

Q キャッシュレス化の推進について

栗林

市内商店会の売り上げアップにつながるキャッシュレス決済サービス導入、普及拡大について、市の考えを伺う。

A さらになる推進に努めていく

経済振興部長

キャッシュレス化の普及拡大の推進は欠かすことのできないものと認識している。10月には、市議会から提言を受けて実現した外国人観光客おもてなしセミナーを開催するなど、事業

Q 開発公園の活用について

栗林

利用頻度が低い開発公園を体験型農園など、地域住民のために利用できないものか。その可能性について伺う。

A 提案があった際には実現に向け取り組む

都市整備部長

公園が持つ公共性、公益性に留意しつつ、本来公園が持つ機能を損ねない範囲であれば、農園等として利用してもらうことは可能と考える。公園美化ボランティア制度により、公園の里親になっていくボランティア組織等から、市民農園等としての利用について提案があった際には、先進事例等を参考にしながら実現に向けて取り組んでいく。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 今回の台風・風水害の対応を踏まえて

宇田 各種防災計画が策定されているが、今回の台風・

風水害の災害対応業務を経験し、計画がどの程度遂行されたのか。また、今後改善すべき課題があったのか、市の見解は。

A 災害に強いまちづくりを進める

市長 台風15号の際、大規模な停電に対する問い合わせ

が殺到し、情報連携と情報伝達が十分機能しなかったことから、台風19号においては災害対策本部を早期に立ち上げ、指揮命令系統の確立と情報の一元化を図り、関係団体等と連携し対応にあたった。



うだ かずお
宇田 一男 議員

(発言時間 = 60分)



今後は、市としてあらゆる災害から市民の生命、身体、財産を守り、安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでいかなければならないと考えている。

市民生活部長 業務継続計画に基づく災害対応については一定程度遂行できたと考えているが、より緊急度の高い避難情報の発令を行ったときの避難所の受け入れ態勢、災害時要支援者への情報伝達手段の確立など、改善すべき課題が多くあることから、地域防災計画や業務継続計画の見直しを随時行いながら、今後の災害発生に備えていきたい。

Q 地域防災計画の改定について

宇田 地域防災計画の改定直後

であるが、大型台風被害や集中豪雨などの被害も多く、修正が必要な箇所もあるのか、市の見解は。

A 法や県計画の改定状況を見ながら検討していく

市民生活部長 大型台風による大規模災害などにより、各地で大きな被害も発生していることから、災害対策基本法や茨城県地域防災計画が今後改定されていくことと思われる。その改定状況を見ながら、本市においても地域防災計画の改定について検討していきたい。

Q 適切な体制づくりは

宇田 市の災害対応体制について適切な職員人数を含めた体制づくりが必要と考えるが、市の見解は。

A 行政需要に応じた組織体制の確立に努めていく

総務部長 行政組織全体として適正な人員配置と人材育成を

継続しながら、効率的な行政運営に取り組んでいくことはもちろんのこと、災害発生時の対応も念頭に置き、組織内の連携や応援体制も含め、行政需要に応じた組織体制の確立に引き続き努めていきたい。

ここが知りたい！ 一般質問



やまぐち かつひで
山口 哲秀 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 地域を守る担い手を育てる取り組みについて

山口 新担い手3法に基づき、公共工事の平準化や適正な工期の確保と処遇改善、働き方改革、生産性の向上の取り組みなど発注者の努力義務が明確になった。地域を守る担い手を育てる取り組みについて見解を伺う。

A 地元建設業の振興を進める

市長 地元建設業者は地域経済の維持、発展に多大な役割を果たしており、地域社会の発展には欠かせず、地域を守る担い手として期待している。今後も公共工事の品質確保の促進に関する法律の基本理念にのっとり、公共工事の品質確保の担い手の育成の

ため、計画的な公共工事の発注など、総合的に地元建設業の振興を進めていく。

Q 北浦の堤防改修と支流の対策は

山口 北浦の堤防は、東日本大震災により破損したが、現在でも改修工事が完了していない。早急な堤防強化が必須であり、抜本的な北浦の堤防改修と支流の対策についても見解を伺う。

A 工事の早期実施を要望する

市民生活部長 計画高不足による危険箇所、漏水に伴う重点監視区間が存在しており、解消に向けて減災対策協議会等で堤防強化工事の早期実施の要望を行っていく。

都市整備部長 支流の対策については、現在海側の整備を優先しており、早期着工が難しい状況。日常的な巡視を継続して行い、異常の早期発見、状況の把握に努め、必要な対策を行うことで、安心、安全な河川が保たれるよう努めてまいりたい。

Q 高齢者肺炎球菌ワクチン接種率の向上に向けて

山口 高齢者肺炎球菌ワクチンについて、国のさらなる接種率の向上という意向を受けて、市はどのような取り組みを行うのか伺う。

A 個別通知による再勧奨を試行的に実施

健康福祉部長 さらなる接種率の向上を目指すし、まずは個別通知による再勧奨を試行的に行い、再勧奨後の接種率の評価、分析を踏まえた中で、本格実施について検討していきたい。

「こんな質問もありました」

- ① 内水ハザードマップについて
- ② 地域防災力の充実強化について
- ③ 肺がん検診受診率向上について

ここが知りたい！ 一般質問



のぶなり
さとう 佐藤 信成 議員
〔発言時間＝90分〕

Q 歴史資料館の20億円の経済規模について

佐藤

市長の後援会が発行したチラシに複合施設をつくらせると20億円の経済効果と書いてあるが、その根拠は。

A 観光客等が330万人にまで増えることが前提

市長

交流センター複合施設の整備を含め、鹿島神宮周辺ににぎわいを創出することにより、市全体として本市を訪れる観光客等が330万人にまで増えることを前提として、消費額を1人当たり500円程度と見込んで算出した内容である。

佐藤

市全体とは書いていない。交流施設をつくらせると書いてある。宝物館ですら年間3万人の来館者なのに、交流施設でそのような効果が出るのか、その根拠は。

市長

後援会の討議資料のため、私はそれ以上答弁できない。

Q 来年度の財政調整基金について

佐藤

来年度の財政調整基金の残額はどれほどの見込みとなる予定か。また、それは基準と比べて適正なのか、危険な水準なのか、見解を伺う。

A 非常に厳しい数値と認識

政策企画部長

令和2年度末の残高見込みについては、現状約11億5000万円となる見通し。さらなる残高の確保に向けて調整していく。これまでも財政調整基金の規模は15億から20億円程度を目安に考えていると答弁してきたおり、この残高は非常に厳しい数値であると認識している。

Q ごみ焼却場の建設費について

佐藤

国からの交付税の見込み額と、現状の交付期間、打ち切られた場合の市の負担額とその財源はどこから賄うのか。

A 国から交付が受けられない場合、計画の推進は困難

廃棄物処理施設建設担当参事

国からの交付金については本年4月に承認され、対象事業費の95%が交付される。しかし、交付金は令和2年度までの限定の措置となる。

政策企画部長

計画に基づく算出では、43億4000万円が交付される見込みと算定している。交付されない場合、市の負担額の増加分は、年間で3億2400万円、全体で38億8900万円になる。財源は市全体の予算の中で一層の効率化により生み出すしかない。仮に交付が受けられない場合、現計画をそのまま推進することは非常に困難になる。

佐藤

本当に市は大丈夫なのか、歴史資料館をつくっている場合なのか、非常に疑問に思う。

ここが知りたい！ 一般質問



つよし 菅谷 議員
[発言時間 = 60分]



Q 防災計画等の見直しは

菅谷

NHKで「正職員だけでは災害対応限界」と放送されたが、誤解を招く内容だったと思う。防災計画を見直すに当たり、非正規職員も参加できるように検討しているのか伺う。

A 現状を踏まえて見直しを行う

市民生活部長

嘱託職員、臨時職員も、実質的には災害対応業務に従事している現状を踏まえて、それぞれの役割があるかを検証し、今後の業務継続計画の見直しに反映していきたい。

菅谷

処遇改善を伴わず責任のみを押しつけるのは本来転倒。今後、正規職員化を考えているのか。

総務部長

現在の嘱託職員は、令和2年4月から会計年度任用職員に移行する。会計年度任用職員の給与や勤務条件等については、常勤職員や国の非常勤職員とのバランスを考慮しながら、処遇の改善に努めていきたい。正職員化については、総人件費への影響も勘案し、適正な職員数の確保を図っていきたい。

Q 被災者生活再建支援及び農業被害の支援

菅谷

被災住宅の被害認定基準があつたのか。

A 住家の被害認定基準は運用方針が変更されている

総務部長

台風19号以降、「半壊に至らない」の被害を受けた住家のうち、損害割合が10%以上20%未満を「一部損壊（準半壊）」、10%未満を「一部損壊（10%未満）」という区分を適用した。

菅谷

被災者支援制度の現状についてはどうか。

経済振興部長

被災したパイプハウス等の農業用施設が早期復旧できるように、経費等について助成する「強い農業担い手づくり交付金被災農業者支援型」が発動されている。本市も県とともに上乘せ助成をしていく。

健康福祉部長

台風15号及び19号により「半壊」の認定を受けた世帯について、被災者生活再建支援法に規定した要件を満たした場合、国からの支援金が支給される。また、「半壊」の認定を受け、要件を満たす世帯に対しては、市と県による鹿嶋市被災者生活再建支援金支給事業により、基礎支援金が支給される。

都市整備部長

今般創設する鹿嶋市被災住宅復旧緊急支援事業については、台風により被災した市内の住宅の復旧工事を行う市民等に対して、国の交付金及び県の補助金による制度と協調して支援する制度となっている。

【こんな質問もありました】

市長の労働基準監督義務について

時間外勤務の上限規制実施状況について

ここが知りたい！ 一般質問

Q ふるさと納税の赤字の理由は

舛井

鹿嶋市のふるさと納税全体収支が、2018年度初めて約1900万円もの大きな赤字に至った主な原因は。また、この制度の中で取り組んでいく上で、市としての考えを伺う。

A 主力商品の取り扱い中止が最大の要因

政策企画部長

総務省からの指摘を踏まえ、昨年11月以降、年間寄附額の約4割を占めていた格安航空会社のポイントギフトについて取り扱いを中止したことが最大の要因。また、人口の多い自治体ほど他自治体への寄附者も多くなる傾向があるため、これも赤字と

なった原因と考えている。

市長

全国から選ばれる自治体になるためには、これまで以上に職員のアイデアや行動力、積極性が必要になる。産業の活性化や歳入増に向け、特徴的な返礼品の発掘や他自治体との差別化を図るなど、制度の枠組みの中で積極的に本事業に取り組んでいく。

舛井

原価率を抑えた魅力ある商品はもちろん、体験型や滞在型の返礼にさらに力を注いでいただきたい。例えば、地引き網体験や、宿泊をセットとした鹿島神宮のお祭り体験、アントラーズホームゲーム応援セット復活等、さまざまな可能性について検討願う。

Q 体制の強化は

舛井

ふるさと納税を担当する職員を増やすなど、今後考えていくべきであると思うが、市はどのように考えているか。

A 組織体制の見直しを含めて

検討する必要がある

政策企画部長

全体収支が赤字になったこと、法改正により全国で同一基準となったことを受けて、より一層の取り組みの強化が必要となる。ふるさと納税制度が続く以上、赤字の解消に向けて組織体制の見直しを含めて検討していく必要がある。

舛井

収支が赤字になった場合、一般企業であれば、体制等のでこ入れを早期に実施し、歯どめをかけるのが普通。住民税減収は市民生活に直接かわるものなので、担当職員へ現状のヒアリングをしっかりと行い、よりよい体制について検討してほしい。



まずい あきひろ
舛井 明宏 議員

(発言時間= 45分)



ここが知りたい！ 一般質問



かわい ひろこ
川井 宏子 議員
〔発言時間＝90分〕



Q 国民健康保険の資格証を廃止できないのか

川井

国民健康保険の資格証は、病院受診のときに全額自己負担となる。まさに、資格があつて保障がない状況。県内で、7市町村が資格証を発行せず短期保険証だけを発行している。市においても、国民健康保険加入者に資格証以外の保障のある証明書を発行する努力が必要と思うがいかがか。

A 検討していくが、慎重な対応に努めていく

健康福祉部長

資格証を交付していない市町村に状況などを調査している。状況を確認しながら市のあり方についても検討していきたいと考えている。

Q 子どもの均等割を廃止できないのか

川井

国民健康保険で、家族一人一人に均等にかかる税金、均等割が家計を苦しめている。共働きしなければ生活が成り立たない、共働きしても生活は精いっぱい、の相対的貧困の家庭が多い中で、せめて収入のない子どもには税金をかけない方法、提案として令和2年度の鹿嶋市の国保事業納付金の減額分から、子どもの均等割に充てることはできないのか。

A 全国市長会等の動向を注視する

健康福祉部長

納付金は広域制度に伴つて、各自治体の所得水準や医療水準を勘案し、決定される。制度の公平性を崩すという観点から、市独自の判断でその分を均等割に充てるという考えはない。

Q 生活保護について

川井

生活に不安を感じ、窓口へ相談、申請に行ったに

もかわかわらず、生活保護が受けられない条件を聞くことにより申請を諦めてしまうケースが見られる。誤解のないような説明対応と、生活保護のしおりの文面の変更が必要だと思うが、いかがか。

A 丁寧な説明に努めていく

健康福祉部長

生活保護の判断基準をきちんとご理解いただけるように、丁寧な説明に努めていく。

「こんな質問もありました」

① 質平和行政について

② 障がい者支援者研修について

③ 質学校の施設充実について



ここが知りたい! 一般質問

Q 鹿嶋市のビジョンについて

小松崎

市が作成したまち・ひと・しごと創生総合戦略は今年度で終了する。次なる地方創生のステージに向けて、第2期総合戦略をどのように考えているのか。

A 第1期総合戦略を継続

市長

第1期総合戦略において掲げた「本市における安定した雇用を創出し、就業を支援する」、「本市への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」について、継続して取り組む。また、観光産業の振興や移住定住の促進、子育て

Q 地域福祉について

小松崎

地域住民や地域の多様な主体が参画し、世代を超えたつながりで暮らしと生きがい、地域をともにつくっていく地域共生社会を構築するために、現状の

環境の整備と支援、公共交通や地域医療体制の充実等の事業についても、重要な取り組みであることから、継続して推進していく。

Q 地域経済の活性化について

小松崎

来年度はオリンピックが開催される。市として観光政策はどのようなことに力を入れていくのか。

A インバウンド対策を優先

経済振興部長

今年度策定した観光振興基本計画に基づき、インバウンド対策を優先して進めていきたいと考えている。さらなる消費拡大のためには集客力を高めていくことはもちろんのこと、各拠点を回遊する取り組みが欠かせない。

コミュニティのあり方をどのように捉え、今後、どのようなことを行っていくのか。

A 互助、共助が図られる体制づくりを推進

健康福祉部長

地域コミュニティづくりには互助や共助が重要であり、地区社協のような住民の主体的な活動により、コミュニティの重要性を意識しながら積み重ねてきた福祉的な仕組みづくりは、貴重な財産であると考えている。しかし、市としての地域づくりに対する方向性が見えにくい状況もあるため、今後は現行の施策の精査と強化を図りながら、福祉的観点からの地域づくり、互助共助がおのずと図られるような体制づくりを推進していきたい。

【こんな質問もありました】

① オリンピックのレガシーについて

② 日本製鉄の製鉄所統合再編成の影響について

③ ICTの活用について

④ 観光イベントの効果について

⑤ 社会福祉協議会の役割について



こまつぎ としのり
小松崎 敏紀 議員

〔発言時間= 90分〕



ここが知りたい！ 一般質問



ひぐち ふじお
樋口 富士男 議員
〔発言時間＝60分〕



Q プラスチックごみ処理における5Rの推進は

樋口

市においてごみの処理方法を転換する方向にある中で、リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再利用する）、リフューズ（不要なものは買わない）、リペア（修理する）の普及促進をどのように考えているのか伺う。

A 最適な方法を調査研究して
つづ

市民生活部長

焼却方式への移行に合わせ、ごみ収集の分別基準を見直し、プラスチック製の容器包装は資源として分別収集していくことの検討や、ごみ処理施設における選別方法の可能性を検討

し、5Rの推進に寄与する最適な方法について調査研究していく。

Q マイボトル運動の実施は

樋口

プラスチックごみ削減の具体的な目標を明確にし、庁舎内でマイボトル運動の提案をするが、考えを伺う。

A マイボトル化の推進を進める

市民生活部長

現在庁内においてもマイボトルを持参する職員も増えてきている状況もあるため、プラスチックごみの減量に向けてマイボトルの使用促進について庁内周知をしながら、一層マイボトル化を推進していきたい。

Q 避難勧告のタイミングと避難所対応について

樋口

避難勧告のタイミングを早めることが、市民の安全を守る観点からも非常に大事であると考えているが、市の見解を伺う。

A 早めの避難行動の周知啓発
に努めていく

市民生活部長

適切なタイミングで発令できるよう取り組む。また避難に関する発令がされていない段階においても、早めの避難行動がとれるように、市としても周知啓発に努めていきたい。

樋口

避難者の人数を把握するタイミングや頻度にズレが生じたが、市の見解は。

市民生活部長

避難者名簿を共有フォルダで随時更新する方法など、管理の手法等について、改善を検討していく。

Q 災害備蓄品の見直しは

樋口

流通備蓄の3万食は、災害が起きた場合、現実的ではないと考えるが、災害備蓄品の見直しはどのようにしていくのか、市の考えを伺う。

A 市民備蓄の充実を図る

市民生活部長

市民備蓄の充実に向けた普及啓発活動に努め、市民の危機管理意識の向上を図っていききたい。

ここが知りたい！ 一般質問



たちほら ひろいち
立原 弘一 議員

[発言時間= 90分]

Q 平井東部土地区画整理事業について

立原

平井東部土地区画整理事業について、保留地の処分状況と見通し、全体の工事の見通しについて伺う。

A 工事はおおむね概成

都市整備部長

保留地の処分状況については、昨年度末の時点で、保留地面積約15・2haのうち、処分済み面積が約8・2ha、未処分面積が約6・9haであり、進捗率は約54・8%である。処分の見通しについては、これまで震災による宅地被災や境界のずれなどから大々的に販売促進を行えなかったが、販売活動に力を入れ、早期処分の実現に努めていく。工事の見

通しについては、一部権利者に係る部分を除いて、おおむね概成しており、来年度早々には工事完了が図られるよう努めていく。

Q 内水氾濫ハザードマップの作成は

立原

1時間100mmの降雨が、当たり前のように各地で起きている。一刻も早く内水氾濫のハザードマップをつくるべきだと考えるが、市の見解を伺う。

A 作成を早急に進めていき

市長

最近の台風、大雨の被害が甚大化している状況を考えてみると、内水氾濫ハザードマップ作成の必要性が増してきている。これまでの台風による冠水状況を踏まえて、実態に即した内水氾濫ハザードマップの作成を早急に進めていきたいと考えている。

Q 日本製鉄の大幅減収に関する市の考えは

立原

先月、日本製鉄が極めて大幅な減収になったという報道がされた。不安を抱えている方が多いと考えるが、市としてのどのように捉えているのか伺う。

A 市への影響は限定的

市長

現時点では本市への影響は限定的であると判断している。しかし、日本製鉄の動向は、本市の人口、税収等に影響を及ぼす可能性が高いと考えられるため、引き続き日本製鉄と密に連絡を取り合い、積極的な情報収集に努めるなど、その動向を注視していく。あわせて、これまでの製造業を中心とした地域経済の循環のほか、中心市街地の活性化やDMOなどによる観光振興など、新たな稼ぐ仕組み、産業を育てていくことで、本市の活力、地域経済をより強固なものにしていきたいと考えている。

就職、進学がありますが、鹿嶋市に戻ってくる予定はありますか？

新しい環境で生活がしたい。戻らないと思う。

子育てしながらの仕事を考えると神栖市に住みたいと思う。支援が充実している。

資格をとって働きたい。戻らないと思う。

接客業などやりたいお店がない。飲食店がない。

鹿嶋は工業系が盛んだがやりたい仕事がない。車がないと移動、生活ができない。

鹿嶋に戻らない理由に、「茨城県の魅力度ランキング最下位」が関係していますか？

他県へ行く経験がしたい。人との出会いがしたい。茨城が嫌なわけではない。

鉄道関係の整備の勉強がしたいが、鹿嶋にはそのような経験ができる場所がない。

やりたい仕事がない。鹿嶋ではできない仕事。

経験を積んで鹿嶋に帰ってきたい。

子育ての充実が必要と話していましたが、どのような点が不足していますか？

共働きの多い鹿嶋市民にとって子どもを預けられる場所がない。支援が必要。

買い物できる場所がない。

映画館もない。



意見交換会を行いました

18歳成人制度(2022年)についてどう思いますか？

自立するという面で良いと思う。

すぐに自立するにはトラブルが心配。

成人式は19歳くらいが良い、自覚を持てるのに半年か1年はかかる。

キリの良い20歳が良い、懐かしくみんなと会えるのも良い。

どうしたら選挙へ行きたいと思いますか？

議員の人間性がわからない。

情報が足りない。面白い人。とっつきやすい人がいい。

親に勧められて選挙に行った。

授業で選挙や人について知ることができるといい。

ぜひ皆さんにも政治に興味を持ってもらいたいです

議会や鹿嶋市について改めて見直すことができました。

自分の市がどんなところか考え直すことができました。

次の選挙はいろいろと考えていきたい。

よく考えて投票することを自覚した。

議員のイメージが変わった。自分のことだけを考えている人だと思っていた。

自分たちの成長にとって良い機会だった。議員が市民のために働いていることがわかるような意見交換会の機会が多くなれば投票率も上がると思う。



鹿嶋市でこれは良いな、自慢できるなと思うところは、何でしょう？

人が協力しあっているところ、近所同士のおつき合いがよい。食事に行くのも人がいいからそこに行く。

神栖市に比べて畑が多く、土地が豊かと感じる。

鹿嶋まつりなどのイベントで市民同士が協力しあっている。

干し芋がある。

駅名が長いので知名度が上がったこと。(鹿島臨海鉄道の「長者ヶ浜潮騒はまなす公園前駅」)

将来の夢は何ですか？

溶接の仕事につきたい。

保育士になりたい。大野めぐみ保育園で働きたい。

安定した暮らしがしたい。戸建てに暮らしたい。

安定した生活より余裕のある生活がしたい。

看護師になる予定。

東京2020オリンピックでこんなことに取り組んだらいいと思っていることは何ですか？

歩道の整備。学校へ行く時に何度もひかれそうになっている。

ごみ拾いも大切。

鹿島神宮をもっとアピールする必要がある。周りがさびれている。

空き店舗の活用も必要。

外国人向けに道路標識をわかりやすくする必要がある。県道の水はけが悪い。



12月9日(月)、県立鹿島灘高等学校の生徒の皆様と議会の意見交換会を実施しました。

勉学や部活動でお忙しい中、当日は14名の生徒の皆様に参加していただき、有意義な意見交換会とすることができました。意見交換会でいただいたご意見は全議員へ報告し、今後の議会活動の参考とさせていただきます。ありがとうございました！

特集
意見交換会

高校生と

鹿嶋市に対する不満やこうすれば良いのになと思うことは何ですか？

土地が有効に使われていない、飲食店や公共の憩いの場が欲しい。

大野地区にはコンビニも少ない、交通機関(臨海鉄道・バス)の便数が少なく不便。

アントラズが上位にいるのは良いことだが、渋滞がひどく何とかしてほしい。

道路に案内看板や標識が少なく分かりにくい。

歩道の狭いところがある。ガードレールも十分に設置してほしい。

市民が安全に暮らせる鹿嶋市にしてほしい。



歩道の凹凸を改善してほしい。

道路に粗大ごみを投げ捨てて行く人がいる。神栖市は粗大ごみが無料と聞いている。鹿嶋市も無料になれば不法投棄がなくなるのでは。

母子家庭だが、市役所の職員の対応が冷たいと親が言っている。

車の通りが激しいところにも信号がない。停止線などが薄くなっている。

アントラズなどをもっとアピールして知名度を上げてほしい。

街灯が少ない。静かで土地が安いので住みやすいが、自転車で人をひきそうになった。

大野にプールができたが活用されていないように感じる。税金は私たちにどのような形で還元されているのかわからない。

図書館の充実。学生が本屋で本を買った場合の補助があるといい。勉強できる場所が欲しい。

—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

**きかせて！
あなたの夢**



清真学園高等学校2年生
石毛南帆さん

私の夢は、キャビンア
テンダント(CA)になる
ことです。大好きな英語
を使うことができ、お客
様に喜ばれる仕事はとて
も魅力的で、特に海外で
活躍できる外資系航空会
社のCAに憧れます。

小学校の時に英会話を
習ったことで英語に興味
を持ち、今では高校の授
業だけでなく、英語ディ
ベート全国大会、ワール
ドスカラズカップや
オーストラリアにある姉
妹校へ派遣される国際交
流事業にも参加していま
す。また、関東地区駅伝

大会にも出場して3位に
なるなど、課外活動にも
積極的に取り組んでいま
す。

今年はオリンピックイ
ヤーで、世界中の方々が
鹿嶋に來ることがとても
楽しみです。

色々な国の人たちと交
流を図り、CAを通して
世界を舞台に活躍できる
人材になりたいです。

生徒会では書記も務め
活躍中の南帆さん。持ち
前の旺盛な好奇心と、行
動力で夢に向かって突き
進んでください！

(小松崎、舛井)

議 会 T O P I C S

11/9
土

鹿島アントラーズ地域連携について研修会を行いました！

鹿島アントラーズ及び県立カシマサッカースタジアムについて、クラブとホームタウン5市の市議会議員の相互理解を深めるとともに、クラブが取り組んでいく鹿行地域の振興の展望について鹿島アントラーズから講師を招き研修会を実施しました。

当日は、鹿行5市の市議会から57名の議員が参加し、有意義な研修会となりました。



鹿島アントラーズ 吉田誠一マネージャーによる講義の様子

11/22
金

東京2020オリンピック推進調査特別委員会の視察研修を行いました！

東京2020オリンピックのサッカー競技開催を成功に導く準備、運営に関する取り組みを調査するため、視察研修を実施しました。

当日は、筑波大学の高橋義雄准教授から「スポーツツーリズムとインバウンド観光」についての講義を受け、その後、新国立競技場や東京駅八重洲南口高速バス乗り場、成田市のスケートボードパークの視察を行いました。



筑波大学 高橋義雄准教授の講義の様子

〈広報広聴委員会〉

- | | | | | | |
|----|----|-----|----|----|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員長 |
| 舛井 | 笹沼 | 小松崎 | 川井 | 菅谷 | 樋口 |
| 明宏 | 康弘 | 敏紀 | 宏子 | 富士 | みよ子 |
| 宏 | 弘 | 紀 | 子 | 毅 | 男 |

編集後記 小池みよ子

今回のスポーツ少年団の取材は、昼の暖かさが嘘のような霧の濃い寒い夜でした。
ト伝の郷運動公園という素晴らしい練習場で黙々と練習に励む彼女たちの姿、サッカーが好きで好きで子どもたちについて熱心にインタビューに答えてくださるコーチの「この子たちを新国立競技場に連れていきたい」という言葉。インタビューをしていて感動が込み上げてくる自分がありました。
がんばれ！と心からのエールを送ると同時に、爽やかな風の吹き抜けた取材でした。

議会報告会を開催します！

日にち：2月9日(日)

- ◆鹿島地区 10:00～12:00 (鹿嶋市役所 3階会議室)
- ◆大野地区 14:00～16:00 (大野ふれあいセンター 2階会議室)

※詳細は7ページをご覧ください。